

事業名

三笠はひとつ 三笠はならのまほろば

目 標

伝統や文化を再認識させ、新たな郷土愛や誇りを育む。

1. 取組の視点

本校区は自治会役員のリーダーシップのもと、地域コミュニティ活動は盛んであり、コミュニティのまとまりはかなり醸成されています。教育への意識も高く、学校（行政）・家庭・地域が連携して、子どもを育てる基盤はできています。そこで、さらに校区の幼・保・小・中のつながりを深め、目指す子ども像を共有し、地域ぐるみで将来に夢やあこがれをもった子どもを育てる気風を醸成する協働体制を構築します。

- 連携、協働の推進と地域教育力の向上
- 地域の良さや文化の理解や郷土愛の推進
- 子どもも大人も育ちあう「共育」の推進

2. 取組の概要

(1)クリーンキャンペーン

地域を流れる河川を地域共有財産と位置づけ、郷土の空間や資産を再認識し、奉仕の心を学ぶ機会としている。クリーンウォークでは地域の方たちと子どもたちが協力して、川沿いのごみ拾いや花植えを行います。イベントでは、高齢者の方を招いて、オープンカフェ・昔遊び・川辺の植物観察などを通じて、世代間の交流を行いました。



(2)なら三笠まほろば文化祭

子どもたちに出会いと感動を体験させ、三笠中学校区の一体感の醸成に寄与しています。子どもたちは素晴らしい出会いと、感動を体験しました。地域の方と中学生が「協働」した運営で達成感を味わう大きなイベントとなりました。

(3)親善ドッチボール大会

校区の4つの小学校からおおよそ100人が参加し、第2回大会を開催しました。参加者を6チームに分けて行われた各試合は、白熱した好ゲームとなりました。初対面の児童がほとんどでしたが、ゲームを通じてチームワークが高まり、交流を深めました。



(4)ノーテレビデー、ノーゲームデーの推進

毎月、3日と17日をノーテレビデー・ノーゲームデーと設定し、家族の会話を促進してきました。チラシの作成及び配付、のぼりの掲示によるPR活動など、通年活動として取り組んでいます。

(5)子ども未来会議

テーマを「21世紀に生きる君たちへ」の講演と「地域とともに未来へ残そう、町の文化遺産」として、各校区自慢を語り合いました。

3. 成果と課題

学校（行政）・家庭・地域の連携、協働により、未来を担う子どもたちの豊かな成長を支え、地域の多くの大人たちが子どもたちの育ちに責任をもつ機運が高まってきています。特に「地域コーディネーター」の人たちの相互の連絡や自主的な研修、活動により、校区に根差した取組から広域的な活動へと発展してきています。

今後は、本協議会の活動により、学校・子ども地域が変わったことを積極的に発信することで、より強固な地域コミュニティが形成されと考えられます。そのことで、新たな地域の担い手を見出し、育成、拡大を図っていきたいです。

事業名

CHALLENGE精神 三笠っ子

目 標

広大無辺に自分の道を切り開け！

1. 取組の視点

今年度、本校生徒会では「CHALLENGE精神 三笠っ子 広大無辺に自分の道を切り開け！」というスローガンをかかげ、生徒自らが地域へのボランティア活動に参加・校内環境を整備し、学校行事を通して生徒会活動の充実を図り、生徒会を統率する牽引役の育成や部活動の活性化、地域との交流拡大に努めました。

2. 取組の概要

生徒会の行事として、今年は校外では、地域の清掃・地域祭り・餅つき・とんど焼き、校内では、花いっぱい運動・門松作り・ほたる育成などを、



学級や委員、部活動の部員などに呼びかけて、校内の花壇やプランターなどの花の植え替えをしています。季節に応じた花を各学期ごとに咲かせて綺麗な花壇やプランターを完成させ校内を華やかに飾りました。

12月はクリスマスを楽しみにしている地域の方々や生徒のために前庭の築山にあるヒバの木をイルミネーションで飾り、夜空に輝くほのかな光が心も体も癒やしてくれました。そして、生徒会のリーダーが中心となり、門松づくりを実施しました。50名くらいの生徒の参加を得て、かなり大きな門松をつくり上げることができました。このような取組を通して、生徒会執行部がリーダー性を発揮することにより、生徒達の愛校心を高め、生徒会活動の重要性を認識し、さらに

花や物を大切にする心を養い、深めていく活動を続けていく機会となればと考えています。



自ら課題を持ち主体的に取り組む、実践的なキャリア教育は、総合的な学習の一環として位置づけ、1年生では、「仕事を知る」、2年生では、「働くこと」「お金の意味」、3年生では、「自らの進路を考える」の目標を設定し段階的、発展的に取り組んできました。

3. 成果と課題

生徒が自らの意思で地域に出向いてボランティア活動することによって、地域の方々に喜んでもらえるだけでなく、地域の中で生徒が存在感を発揮することにより、自分自身をさらに成長させることができました。ボランティア活動等を通して協力する場面では、生徒みんなで一つになれる力を養い、学校全体が一つになり、地域の一員としての存在をアピールできたと思います。

各学年のキャリア教育の取組後の感想や自己評価では、多くの生徒がコミュニケーション力が上がったこと、自分の将来に展望をもち考えることができたことなどを上げています。また、様々な体験から、多様な見方・考え方に接し、世の中のことに関心を生み出し、自分自身の見聞を広められることに大きく役立ち、しいては、目標を持って生活する習慣や学習意欲の向上、また、学校生活において将来の自分の姿を深く考えることができるようになりました。

事業名

世界にはばたく椿井っ子

目 標

地域の教育力を活かし、特色ある教育活動を創造する。

1. 取組の視点

本校は、奈良市の中心部に位置し、多くの社寺や観光名所に隣接しています。また、明治5年に開校した長い歴史と伝統を有する学校であり、地域の人々は愛校心が強いです。また、学校教育に対する関心も高く、何事にも協力的です。

こういった素晴らしい環境や地域の教育力を生かし、自分の郷土に誇りを持つとともに、自分の身近な所から積極的に行動し、表現や発信ができる児童を育成していきたいです。そして、世界に大きく目を向け、持てる力を発揮して夢に向かって頑張れる子を育てていきたいです。

2. 取組の概要

地域の人材や文化の活用を図り、本校の教育三本柱「国際理解教育」「環境教育」「特別支援教育」を進めました。特に「地域から学ぶ」をテーマに、校区を活動の場として、人とのかかわる体験的な学習に取り組みました。

<活動例>

○外国の人と交流しよう

高学年では、外国語ボランティアガイドさんの協力を得て、奈良を訪れる外国の観光客にインタビューを行ない、多くの人と交流し思いを伝え合う楽しさを体験しました。

○奈良の自然に親しもう

2. 3年生では、地域の方にお世話になり奈良公園をフィールドワークし、植物や虫たちのことや命の大切さを教えてもらいました。

○地域の方とのふれあい

地域の高齢者の方に来校いただき、1年生にこま回しやおはじき等の昔遊びを教えてくださいました。また、6年生の校区にある文化遺産や伝統工芸の取材でも、地域の方とふれあい多くの情報をいただくことができました。「折り紙教室」

や「ふれあい音楽会」でも多くの地域の方と交流し、そのやさしい思いにふれることができました。

○つばいまつり

地域で子どもを育てるため、地域の繋がりをよ



り強くするために、自治会をはじめとする各団体と学校が協力して、椿井小学校を拠点とした地域のお祭り「つばいまつり」が開催できました。

○地域の伝統文化を伝えていこう

学校の裏にある大宿所で練習を行っている南都楽所の雅楽演奏を鑑賞しました。また、地域の伝統工芸を学ぶために、筆作りに挑戦したり墨作りを見学したりしました。

○手話で仲良く、互いを分かり合おう

毎月2回、手話交流会を開き、手話に親しむために手話によるゲームや絵本のお話を開催しました。地域の方や多くのボランティアに支えられました。

3. 成果と課題

本事業を通して、子どもたちは地域の多くの方々とふれあう機会をもちました。その中で人と関わる力を高めることができました。また、地域の遺産や文化との出会いから、自分達の地域の素晴らしさに気づくことができました。また、それらを守り続けて来た人々の営みや思いにまで目を向けられるようになってきました。

今後も地域の教育力を生かし、問題解決力やコミュニケーション力をより高め、世界へ羽ばたくための素地を養っていきたいです。

事業名
目 標**地域とスクラム、学びが深まり、健やかな心と体が育つ大宮アクション**

健やかな心身を育み、最後まであきらめずにやり遂げようとする力と、自他の命はもちろん命あるものを大切にしていこうとする心情をもった児童を育てる。その上で地域の人々とのふれあいを深め、人としてのものの見方、考え方を学ぶとともに、生まれ育った「大宮のまち」に誇りをもてる児童を育成する。

1. 取組の視点

学びは、学校での学習だけで深まるものではありません。地域の人々のかかわりは、子どもたちに大きな学びをもたらします。もとより子どもたちの健康で安全な日々の生活は、地域の方々の様々な支えが重要な要素の一つです。

また、学力・学習状況調査の結果から奈良県の児童の体力が全国平均より劣っていることは、奈良県の教育課題のひとつです。本校の児童に関しても、同じ傾向が見られます。

さらに、規範意識の低下も教育課題に挙げられています。そこで、本事業で目指す「自他はもちろん、命あるものすべてを大切にしていこうとする心情を育てる」「人としてのものの見方、考え方を学ぶ」こともその解決につながる道筋の一つになるものと考えています。

2. 取組の概要**＜第23回 大宮まつり＞**

社会福祉協議会が中心となって、大宮地区の諸団体が合同で開催する大イベントです。大宮小学校の児童は、「子どもみこし」や「子ども盆踊り」で祭りに参加します。「子ども盆踊り」では、1、2年生児童が3週間ほど前に婦人会の皆さんの事前指導を受けます。

当日の盛況もさることながら、その陰にある人々の工夫、努力、苦労が、児童と伝統文化をつなぐ大きな要素になっています。

＜心温まる『ふれあい昼食会』＞

社会福祉協議会と6年生のコラボレーション事業です。毎年、大宮小学校へ地域の高齢者をお招きして行う昼食会です。

今年も6年生が出し物をしたり、参加者との語らいがはずんだりして意義ある交流となりました。最後に記念撮影をし、後日それにメッセージを添えて、参加者にお送りしました。お礼の手紙をいただくなど、交流が続いています。これは、本校のキャリア教育の取組の一つです。

＜全校ドッジボール大会＞

体育委員会
が中心になっ
て企画・運営
し、低・中・高
学年にそれぞ
れ分かれての
クラス対抗戦

が行われます。試合の日程が発表される前から子どもたちの意欲が高まり、当日の優勝を目指して熱心な練習がはじまります。一人ひとりの体力の向上とチームワークの獲得による心の育ちが期待できます。

＜健康マラソン＞

11月下旬から12月中旬にかけては、「ランラン月間」です。朝から運動場で合同かけ足が行われ、一人ひとりが自分の目標を決めて走ります。

今年も寒風の中を一人ひとりが自分の壁に挑んだ納会で幕を閉じました。

＜ガンバ読書＞

児童は、火曜日と木曜日の朝8時30分から8時40分まで全校一斉にそれぞれの教室で読書をします。自分の世界を広げるとともに、気持ちを和ませ落ち着いた雰囲気の中で1時間目の授業を迎えられます。

＜命の慈しみ、飼育活動＞

飼育委員会の児童が中心となって、2羽のウサギを世話しています。小屋の掃除をしたり、ウサギを抱きかかえたりしている児童の目は慈しみに満ち溢れています。小屋の前にある「ふれあい広場」では、ウサギとのふれあいに子どもたちが目を輝かせます。このような飼育活動は、生きとし生けるものの命を大切にしようという心情の育ちに大きく寄与しているといえます。

3. 成果と課題

地域の人々との交流や協働からは、自分は多くの人のつながりの中で生きているということ、今の自分にできることは何かということに気付き、考え、行動する児童の育ちが表出してきました。

特に高齢者の方々とふれあいからは、自分も人に喜んでもらえることができること、喜んでもらえることは自分の幸せにつながるということに気付くとともに、自分もこの大宮の地域の一員であり、自分が地域のためにできることを考えていこうとする意識の芽生えにつながっています。

今後は、児童がアイディアを発信し、企画などに参加・参画していく手立ての追求が課題です。

また、児童の体力づくりも重要な課題です。「したい」という気持ちの表出を大切にしながら、意欲が高まる体育学習や全校縦割り活動の在り方の工夫、また、休み時間の外遊びの高まりなどを重点に置いて今後も取り組みを続けていきたいと思っています。

事業名

地域で学び 地域から学び 地域に働きかける 大西っ子

目 標

「わたし大好き あなた大好き 学校大好き わが町大好き」
 と思える児童の育成

1. 取組の視点



本校では「地域で学び 地域から学び 地域に働きかける 大西っ子」をテーマに取り組みを進めてきました。「地域の環境・資産や人材を活用

しながら活動していく事業」「地域の方々の共に活動する事業」「地域の方々の支援を得ながら活動していく事業」を中心に取組を進めてきました。大安寺西校区は、環境教材・資産に恵まれ、地域の行事も多く地域がひとつにまとまっています。また、学校を中心に地域の方々が協力体制を取りながら学校を支援していただく場面も多いです。そんな環境の中で子ども達が本物にふれる経験や体験的な活動を通して豊かな感性を育み、地域を大切に、地域に生きる子ども達を育成することを目指しています。

2. 取組の概要

※佐保川をテーマにした学習を学年に応じた形で取り組みを進めています。2年生の町探検では市の施設や県立図書情報館での学習、3年生は講師を招いて佐保川の環境や生物の学習を展開しています。5年生では野外活動や森林学習を通して、校内緑化や校内環境の大切さを学習することができました。6年生では歴史遺産学習を通して古都奈良を再認識し、自分たちのまちを大切にしていこうという意識を高めることができました。



生物の学習を展開しています。5年生では野外活動や森林学習を通して、校内緑化や校内環境の大切さを学習することができました。6年生では歴史遺産学習を通して古都奈良を再認識し、自分たちのまちを大切にしていこうという意識を高めることができました。

※大安寺西地区は地域を挙げての取り組みが多く子ども達も参加することにより地域への所属感を持つことができています。2年生が「年長者の集い」に参加し年長者の方に劇を披露する機会



を設けています。6年生は「川辺のまちづくり」に参加し、雅楽や自分たちで作った歌などを披露することができました。地域の行事に自分たちも参加し、力を出すことで、地域への所属感を高め、成就感を持つことができました。自分たちもまちづくりに参加していることを実感できる一場面でした。



※ここ数年続けている雅楽体験の取組を今年も実施することができました。南都学所の講師の先生に5年生が指導を受け笙・龍笛など

和楽器の演奏に取り組むことができました。子ども達は体験を通して、雅な音色にふれ、古の奈良を体感することができました。また、学年園での畑づくりでは地域の名人さんの指導を仰ぎ体験的な学習ができました。理科学習や家庭科の学習において講師やボランティアの協力を得ながら学習効果をあげることができました。図書ボランティアの協力により朝の読書タイムなど読書活動を充実させることができました。クラブ活動においては、地域の方々の協力により、茶道や将棋マジック等本格的な楽しい活動を保証することができました。



3. 成果と課題

地域行事に参加することにより自分たちの住む地域の理解を深めることができました。地域への所属感を増すことにより自分の存在感を高める活動につながっていました。できるだけ体験的な学習を大切にすることに努め事業を展開しました。地域行事に参加することはよいことであるが学校行事との兼ね合いを考えながら、時期や参加体制を調整し、充実させていきたいです。

事業名

ひとにやさしい ものにやさしい チャレンジする 佐保川っ子

目 標

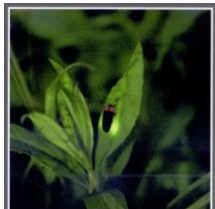
地域にある自然環境や文化的歴史遺産、また地域の豊かな人材を活用しながら、心豊かで人や物にやさしく、この佐保川地区を愛する子どもを育む

1. 取組の視点

「地域にある自然環境や文化的歴史遺産、また地域の豊かな人材を活用しながら、心豊かで人や物にやさしく、この佐保川地区を愛する子どもを育む」を目標に、本年度も本校と隣接した『佐保川 水辺の楽校』を活用した取組や、地域のみなさんの学校支援活動が中心となりました。昨年度の本事業における取組の評価は良好であることから、継続的に事業内容の充実に取り組み、子どもたちの地域を愛する心の育成を目指しました。

2. 取組の概要

○「佐保川 水辺の楽校」とともに



今年もホタルが

佐保川のホタル復活へ向けて、継続的にホタルの幼生やカワニナを放流し続けており、少しずつ飛び交うホタルの数が増えています。これには、地域の定期的な清掃活動や、児童による水辺の掃除、そして、行事としての佐保川清掃の成果でもあります。

さらに、この恵まれた環境を活用し、秋には「水辺のコンサート」によって、本校児童や佐保川保育園、一条高校との交流を行ない、ポスター等の案内を校区に掲示して、一般公開参観日として地域の方々に多数参観いただいています。



今年もホタルを



水辺のコンサート

○地域のみなさんとともに



田植え（もち米）



もちつき大会

初夏には、地域の方の協力を得て、5年生が田植えをします。実りの秋を迎えて稲刈りののち、このもち米を冬の「もちつき大会」に提供いただき、子どもたちや保護者のみなさんで食べたり、地域のお年寄りに配ったりしています。今年度は、三笠中学校の生徒が応援に来てくれました。



お昼のお話し会

図書の蔵書充実とともに図書管理の活動に、本年度も多数協力いただきました。また、「お昼のお話し会」を定期的に実施して本の読み聞かせもしていただき、子どもたちは熱心に聞き入っていました。

3. 成果と課題

概要として挙げた内容以外にも、様々な内容や場面で地域のみなさんにご協力いただき、本校の子どもたちが多くの人たちに育てていただいていることは、大変素晴らしいことです。

ホタルの放流については、三笠中校区の子ども未来会議において、卒業生から成果を喜ぶ声も聴かれました。継続的な取組が子どもたちの世代でも評価されています。本の読み聞かせについても、「始業前の時間にいかがですか。」といった提案をいただき、学校の活動に積極的にかかわっていただいていることに感謝しています。

事業名

育ち合おう！感動いっぱい幼稚園

目 標

「明るく 優しく たくましく生きる子ども」を目指して

1. 取組の視点

昨年度に引き続き、今年度も体力づくりや感動体験を通して「明るく、優しく、たくましく生きる子ども」を育てたいと願い、以下の視点を考えました。

- ・ 地域の人材を生かしたいろいろな体験を通して、感動する心や健やかな体を育てる。
- ・ 親子・地域がともに楽しめる園作りを目指す。
- ・ 地域を歩いたり、行事に参加したりして地域のよさを知り、大宮大好きな子を育てる。
- ・ 伸び伸びと体を動かして遊べる環境をつくる。

2. 取組の概要

【元気っ子クラブ】

体育指導講師を招き、マット運動、鉄棒、ラインサーキット、縄跳びなどいろいろな運動遊びの基本や方法を教えていただきました。

【健康な体づくりについての講演会】

保護者に親子共々健康に暮らせるための講演会を開催しました。

【防災センター・消防署を見学】

防災体験から子どもたちは防災に強い関心を持ち、その後の避難訓練でも自分から活かして取り組む姿が多く見られました。また、消防署で見学したレスキュー隊の訓練に子どもたちは憧れの気持ちを持ち、早速芝生の園庭でいろいろな遊具を組み合わせる訓練の場をつくり、隊員になって意欲的に体を動かして遊ぶことを楽しみました。



【七夕コンサート・カプラで遊ぶ感動体験】

本物の音色に触れたり、家族や地域の方とカプラで遊んだりする感動体験を積み重ねたことで音楽会や生活発表会に生かせました。



【お茶会や生け花を体験】

地域の方の指導を受けて日本の伝統文化にふれることができました。

【クリーンウォークに参加】

地域の方に付き添っていただき、町を歩きながらゴミ拾いをしました。その後、登園途中にゴミを拾ってきたり、ゴミを捨ててはいけないということが子どもから気づいたりするようになりました。



3. 成果と課題

一年間体力づくりに取り組んだことで諦めずに続けることの大切さが分かり、心身ともにたくましくなったと感じます。また、地域の人や環境にふれたり、感動体験を積み重ねたりすることで豊かな心情がはぐくまれコミュニケーション力を身に付けることができました。来年度は音楽環境も整えていきたいと思います。

事業名

わたし大好き あなた大好き 幼稚園大好き わが町大好き 大西っ子

目標

育て 躍動する心と体

1. 取組の視点

地域の人・もの・ことに触れる多様な体験を通して心も体も躍動する子どもを育てます。

- ・計画的に園外保育を実施して、奈良の世界遺産、地域の自然環境などに触れたり、地域の方の話を聞いたりして自分の住んでいる町に親しみや愛着を感じ、大切にしていこうという気持ちを育てます。

- ・園外保育を通して体力づくりの基礎である歩く体験を積み重ねたり、地域で活動されている方の力を借りてサッカー教室を行ったりし、体を動かすことで心も動く楽しさが味わえるようにします。

- ・地域の方をゲストティーチャーに招いて日本の伝統文化に触れたり、地域の行事に参加したりして人とのかかわる喜びを味わうとともに豊かな感性と規律ある態度を身に付けます。



2. 取組の概要

地域を流れる佐保川は四季を通して園外保育に出かけられ、地域の方にとっても憩いの場です。次年度に引き続き、講師を招き佐保川を探索しました。幼児達は採取した生き物から佐保川が少し汚れているということを知り、環境教育にもつながりました。また、地域の方から昔の佐保川や地域の様子を聞き、大切にしていこうとする気持ちが芽生えました。

地域の教育力を活用して日本の伝統文化に触れる茶道教室、親子でのマイ茶碗作り、土曜参観

を利用して地域の方や保護者で行ったお茶会等一緒に楽しむことができました。

地域の方をゲストティーチャーに招いてのグラウンドゴルフや中学生との交流音楽会・小学生との交流等いろいろな人とのかかわることができ、身近な人に親しみを持ち積極的にかかわろうとする姿が見られました。



教育センターや平城旧跡など距離を伸ばした園外保育を実施することで、長距離を歩くことも楽しみ、心身共にたくましくなったと感じます。

また、いろいろな人とのかかわりの中で、自分の思いを話す力、自分から積極的にかかわろうとする力が身についてきたように思われます。

3. 成果と課題

計画的に佐保川に親しむ活動を実施したり、探索したりしたことで幼児達は自分たちも佐保川を大切にしていこうという気持ちを持つことができました。また、茶道教室では地域の方や保護者と共に楽しむことができ、五感を通して場にふさわしい態度を身につけることができました。地域と協力して園児を育てていけるよう地域の教育力も活かしながら活動に取り組んできました。園児はいろいろな人々との出会いの中で感動体験をし、表現する喜びや人に対する思いやりや優しさを身につけることができました。次年度も地域の方の力を借りて共に園児を育てていけるよう、計画的に取り組みたいです。